

# インテリアのスタイルの分類及びその特徴に関する研究

分類: 卒業研究

作品/論文: 論文

制作年度: 2021年度

課題概要: 調査・分析

Study on the Classification of Interior Styles and Their Characteristics

新宮匠 SHINGU Takumi 2018年入学 | 工業設計学科 Department of Industrial Design

雰囲気 (Image)			地域 (Region)			時代 (Epoch)			歴史 (History)		
洗練 (あ)	I-あ-1	アーバン	アメリカ (か)	R-か-1	アメリカン	旧時 (さ)	E-さ-1	トラディショナル	デザイン史 (な)	H-な-1	アールデコ
	I-あ-2	コンテンポラリー		R-か-2	コースタイル		E-さ-2	ヴィンテージ		H-な-2	ヴィクトリアン調
	I-あ-3	シック		R-か-3	西海岸		E-さ-3	クラシック		H-な-3	ゴシック調
	I-あ-4	スタイリッシュ	R-き-1	アジア	E-さ-4		アンティーク	H-な-4		ロココ調	
	I-あ-5	モダン	アジア (き)	R-き-2	エスニック	懐古 (し)	E-レ-1	シャビー	文化 (に)	H-に-1	ミッドセンチュリー
I-い-1	インターナショナル	R-き-3		オリエンタル	E-レ-2		ジャンク	H-に-2		シノワズリ	
I-い-2	シンプル	R-き-4		和	E-レ-3		レトロ	H-に-3		シェーカー	
I-い-3	ハイテク	ヨーロッパ (く)		R-く-1	イタリアン	計7種類			計7種類		
I-い-4	ミニマル		R-く-2	イングリッシュ	性別 (Gender)						
素朴 (う)	I-う-1		カフェ	R-く-3	地中海	男性 (た)	G-た-1	インダストリアル	男性 (た)	G-ち-1	ガーリー
	I-う-2		カントリー	R-く-4	トスカーナ	女性 (ち)	G-ち-2	キュート	計5種類	G-ち-2	キュート
	I-う-3		ナチュラル	R-く-5	コロニアル		G-ち-3	フェミニン		G-ち-3	フェミニン
	I-う-4		ラステック	R-く-6	フレンチ		G-ち-4	ロマンティック		G-ち-4	ロマンティック
I-え-1	エクレクティク		R-く-7	プロヴァンス							
有彩色 (え)	I-え-2		エレガンス	R-く-8	北欧						
	I-え-3		カジュアル	R-く-9	南欧						
	I-え-4		コテージ	R-く-10	ヨーロッパ						
	I-え-5	デコラティブ	R-け-1	アフリカン							
	I-え-6	トロピカル	計18種類								
	I-え-7	ポップ									
	I-え-8	ボヘミアン									
	計21種類										

図1 インテリアのスタイルの分類

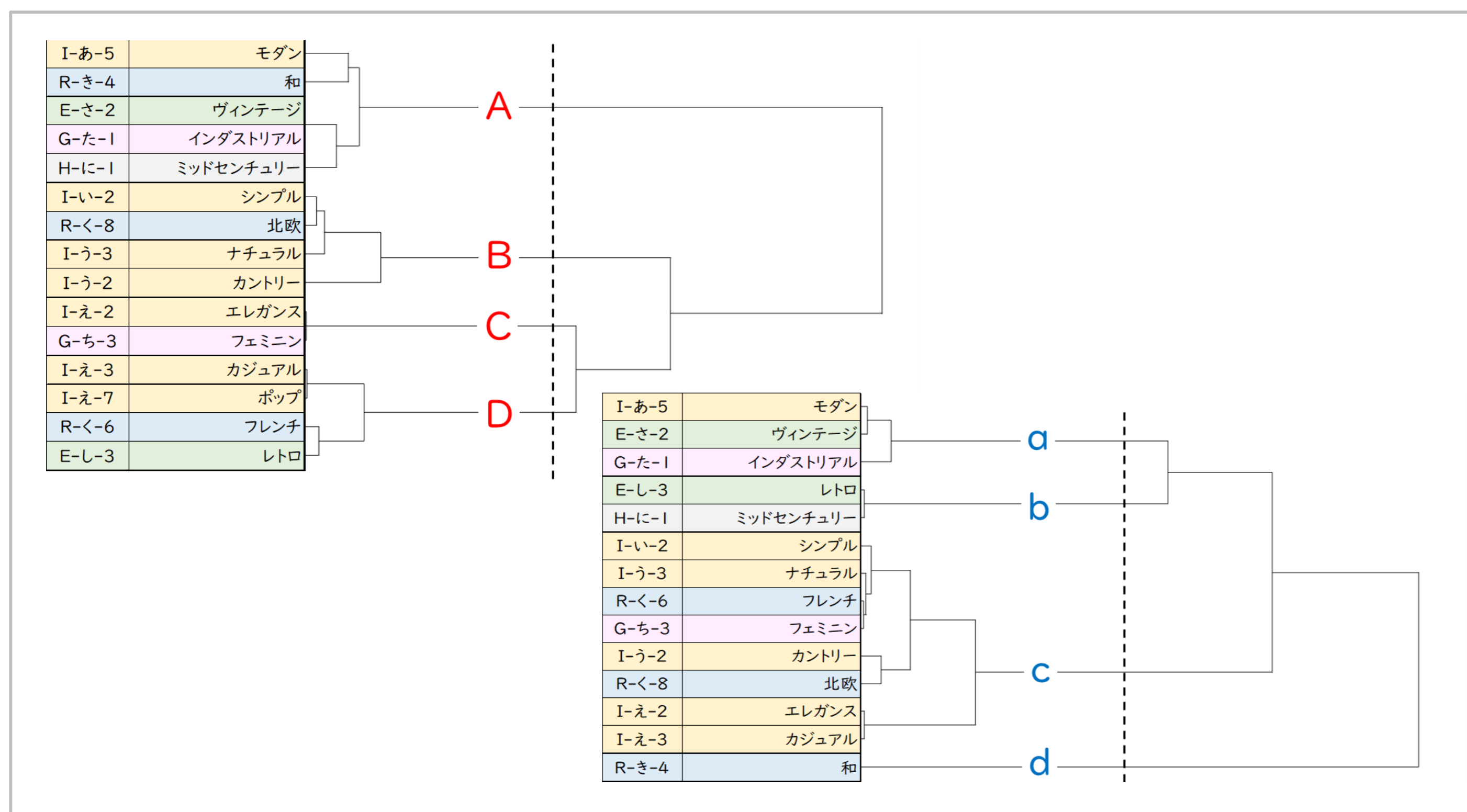


図2 インテリアのスタイルと色・素材のクラスター分析 (左側: 色、右側: 素材)

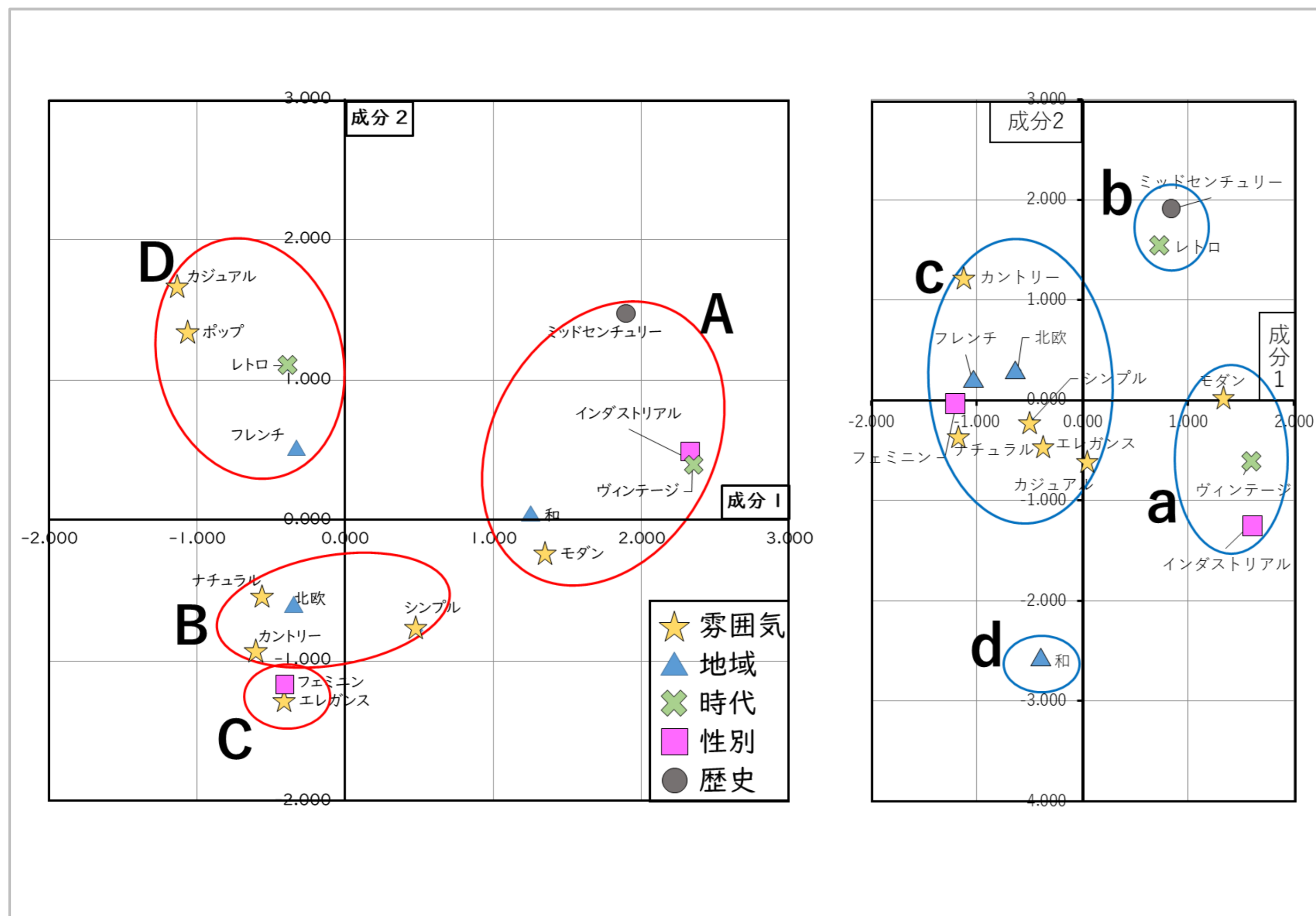


図3 インテリアのスタイルと色・素材の散布図 (左側: 色、右側: 素材)

インテリアについて考えるとき、雑誌やWEB上で「スタイル」という表現や言葉を多く目にする。このスタイルには明確に定義があるわけではなく不明瞭である。そこで、本研究では、インテリアのスタイルの分析を行い、スタイルを印象付けるデザインについて調査をすることにより概念を整理することを目的とする。

インテリアデザインにおけるデザイン対象を明らかにするために文献調査を行った。その結果、インテリアデザインは「空間デザイン (=プロダクト等のコーディネート)」と「プロダクトデザイン」に大別できることがわかった。本研究では後者を対象として以降の調査・分析を行うことにした。

インテリアのスタイルがどれほどの数、存在しているのか調査を行い、58種類のスタイルが見つかった。それらを生まれた背景とそれぞれの特徴により分類を行った (図1)。その分類ごとで2つ以上のインテリアのスタイルが組み合わせて用いられることがあることについても調査を行い、新たなスタイルの組み合わせを示唆した。

スタイルを印象付けるデザイン要件をインテリアデザインの実務者へのインタビューから色と素材であると考えた。集めたインテリアのスタイルの58種類の中から18種類を対象を絞りスタイルの差異を明確にするため、色と素材をアイテムカテゴリとして数量化理論Ⅲ類によりスタイルと2つの要素の関係を分析、クラスター分析を行った (図2)。

その結果、選定した3種類のスタイルは調査対象として適していないことから除き、残った15種類の中でクラスター分析を行った結果、それによるスタイルを表現する用語のグループ分けをした。

さらに、それぞれのグループごとに丸で囲んだ図、それと同じ位置にあたる部分を同様に囲んだ色、素材の散布図を作成した (図3)。色と素材によるグループ分けを見ることで多くのスタイルは区別することができたことから、不明瞭なインテリアのスタイルについて整理を行うことができた。

さらに、小分類を複合することで「カントリー」「シンプル」以外のスタイルは区別することが可能であったことから、生まれた背景が異なっているだけでその特徴は似ている可能性があることが示唆された。これを明確にするには、本分析で取り上げなかった他のスタイルや色・素材以外のデザイン対象について分析を行うことが必要である。

さらに継続して分析を行うことにより、インテリアのスタイルを整理することができ、売り手買い手作り手すべてに共通の認識ができれば有益な情報になるだろう。

以下フッタ